



おおしょう

尼崎市立大庄小学校

学校だより NO. 2

H30. 5. 1

良樹細根(りょうじゅ さいこん)

小鳥のさえずりもひとときわ爽やかに感じられ、新緑が目にしみる季節になりました。若葉がどんどん大きくなって、これからの季節には人にとってありがたい木陰をつくってくれることでしょうか。きれいな花やたくましい木には、それを支える根っこがしっかりと土の中に存在します。土の中の水や養分を吸収して、花や葉っぱに栄養を届ける大切な役目を果たします。

「良樹細根」ということばがあります。～根が広く深く張っていれば良い樹になる。根をおろそかにして良樹になることはない～という意味があります。学校で言えば「樹」は子どもたち。根を下ろす大地は、学校・家庭・地域でしょう。子どもたちがそれぞれの「根っこ」をしっかりと張り、伸び伸びと成長するためには、「大地」の目に見えない力が必要です。

- ♡ 学校での「個の学び」「集団としての学び」「他者との関係づくり」「思いやる心育ち」等々
- ♡ 家庭での「毎日の食事」「しつけ」「子どもへのあふれる愛情」等々
- ♡ 地域のみなさんの温かい見守り等々

子どもたちがしっかりと根を張り、すくすくと育っていけるよう、学校・家庭・地域が繋がって栄養たっぷりの土壌をつくっていきたいと思います。そのために、学校も日々努力していかなければならないと強く思っております。

本年度、教育目標・・・「豊かな心と自ら学ぶ力をもち、共に伸びゆく子どもを育成する」

めざす子ども像・・・「かしこく・やさしく・たくましく」 としました。

子どもたち一人ひとりが、仲間と共に学び合い磨き合う中で、個の持てる力を伸ばしていけるよう、教育目標を具現化に向けて教職員一同真摯に取り組んでまいります。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。

